

3) 患者の問題行動

ここでいう「患者の問題行動」とは、患者の医療者に対する暴言、理不尽な要求、暴力行為や器物破損等を指す。

このような問題を起こす患者に遭遇することがあると回答した医師は 59.4%に上っていた(図 1-1-28)。そのうち、過去1年間に遭遇した回数が1件程度は 36.7%であり、約6割の医師が複数回遭遇していた(図 1-1-29)。遭遇した医師のなかで警察に届出をした人は 12.2%であり(図 1-1-30)、病院・診療所別では、病院医師の 14.2%、診療所医師の 8.8%が、過去1年間に警察への届出をした経験があった。

